



近年の建設業界は、外国人技術者の活躍も目立つ。測量の専門学校に通うカトリ・プラカシュさんもそのひとり。ネパール地震を経験し、母国の社会基盤整備に貢献したい、その思いから測量士を目指し日本に留学した。すでに就職先も内定し順風満帆。今後の目標などを伺った。

●測量専門学校を選んだきっかけ

大学在学中から内勤と外勤の両方ができる測量業務には興味がありました。ですが、留学を決意させたのは2015年のネパール地震です。M7以上の地震が起こり、首都カトマンズから山岳地帯まで被害を受けました。多くの人が亡くなり、建物も崩壊……。それを目の当たりにしたとき、都市機能を安定させるには、測量技術の高さが大切だと感じました。私は、それを学んでネパール発展の手助けをしたい。

高い測量技術を学ぶには留学しかありません。日本を選んだのは、ビザの問題も含め、技術取得の環境が整っていると聞いたからです。まずは、日本語学校で語学と文化を学びました。語学学校卒業後に選んだ福岡国土建設専門学校は、生徒思いの素晴らしい先生方や、気持ちを高め合う仲間と出会えました。卒業して福岡を離れても、また帰ってきたいと思える学校です。

●授業内容や勉強法

クラスは約40名。日本人と外国人の混合クラスです。講義は日本語で行われます。大学では理数を専攻していたので、講義に出る数式は難しくありませんでした。クラスでも上位を維持できています。授業は座学で理論を学び、それを実習で確認する。ドローンなど新しい技術も学べます。簡単に操縦できると思ったドローンですが、規制もあり、また充電時間や天候に左右されるなど、体感して理解したことも多くありました。

授業は午前中のみ。午後、アルバイトに行く前に毎日3〜4時間勉強しています。予習復習に時間をかけているのは漢字です。テキストや先生が使った言葉、漢字を広範囲に調べて授業に支障がないようにしています。

●日本の生活で印象的な出来事

ネパールと生活環境の違いは大きく、慣れ

担い手シリーズ 03

ネパール地震で知る 測量技術の重要さ 高い志を抱いて日本へ

カトリ・プラカシュ 2年（測量士補予定）
福岡国土建設専門学校 測量技術情報科



カトリ・プラカシュ／ダーン郡（ネパール）出身。トライチャンドラキャンパス休学中。平成31年日本語学校卒業、福岡国土建設専門学校 測量技術情報科に入学。令和2年卒業予定。横浜の測量会社に内定。

学校情報
812-0887 福岡市博多区三筑2-7-8
TEL092-501-3261 FAX092-502-0210
<http://kokusen.ac.jp/>

るのに半年くらいかかりました。特に時間厳守の規則には驚きました。語学学校に通っていたとき、自転車のアクシデントで授業に1分ほど遅れ、先生からきつく注意されました。

ネパールでは20〜30分くらい授業に遅れても何も言われません。1分の遅刻で、なぜそんなに怒っているのか理解できなかった。今は遅刻をすると、相手から信頼を失いやすいと理解していますが、当時は怒られる理由に悩みました。

●今後の目標

すでに、横浜の測量会社に就職が内定しています。そこから3年間は、経験を積み重ねて測量士の資格を取得したいと思っています。

日本で測量を学び卒業することが目標でした。来年は、それを達成し通過し、新たなスタートです。これからも全力で取り組むつもりです。そして、いつかはネパールに戻り、国の助けになれたいと考えています。

●測量士を目指す後輩へメッセージ

社会生活の一端を担う測量はニーズの高い仕事です。生活の基盤になるからこそ、取得まで時間がかかり簡単ではありません。私もその道の途中。焦らず気負わず、任された仕事に対して真剣に向き合っていきたいと思います。後輩のみなさんも自分のスピードで学んでほしい。